

～未来へのトビラを拓く教育のまち 岩見沢～

子どもが煌めく学校教育の推進

総合教育会議

岩見沢型ピア・サポートの取組と成果



期日：令和7年10月27日(月)



目次



1. なぜ、ピア・サポートなのか
2. 岩見沢型ピア・サポートとは
3. 現時点の成果



目次



1. なぜ、ピア・サポートなのか
2. 岩見沢型ピア・サポートとは
3. 現時点の成果



I. なぜ、ピア・サポートのなののか



① 確かな学力の向上

アプローチ1

分かる授業づくり

指導方法の工夫改善

ICT機器の活用、AIドリルの活用

アプローチ2

ピア・サポート

安心して学べる学習環境づくり

令和元年をピークに学力が低下

【確かな学力の向上】

基礎的な知識・技能
思考力・判断力・表現力
自ら学び、自ら考える力
主体的な行動力・実践力

アプローチ3

コミュニティ・エリア構想

学校・家庭・地域との協働体制

アプローチ4

授業時数特例校制度

学校課題に応じたカリキュラムの編成



② 学習指導と生徒指導は車の両輪

アプローチ1

分かる授業づくり

指導方法の工夫改善
ICT機器の活用、AIドリルの活用

- 「主体的・対話的な深い学び」の視点に立ち、「教えるべき」ことを教え、「考えさせるべき」ことを考えさせる授業
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させた授業（文科省）

アプローチ2

ピア・サポート

安心して学べる学習環境づくり

- 子どもたちが学び合い、高め合うことのできる人間関係づくりが学力向上の基盤
- 「支持的・親和的な学習集団づくり」「個を育てる共同体をつくる」



I. なぜ、ピア・サポートのなののか



ピア・サポート研修：栗原 慎二 氏

- ・広島大学名誉教授
- ・文部科学省「生徒指導・進路指導に関する有識者懇談会」委員
- ・文部科学省「生徒指導に関する教員研修の在り方研究会」委員
- ・文部科学省「生徒指導提要の改訂に関する協力者会議」委員
- ・学校教育開発研究所 代表理事
- ・日本ピア・サポート学会 常任理事
- ・前日本学校教育相談学会会長



岡山県総社市、宮城県石巻市、兵庫県加古川市、山形県米沢市等でコンサルティングを行い、不登校の減少・学力の向上に寄与した実績がある。



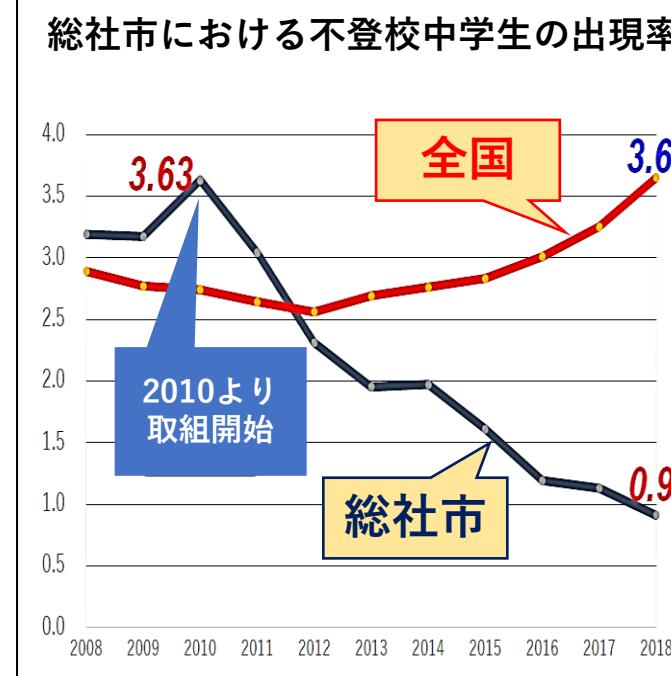
I. なぜ、ピア・サポートのなののか



岡山県 総社市における実績

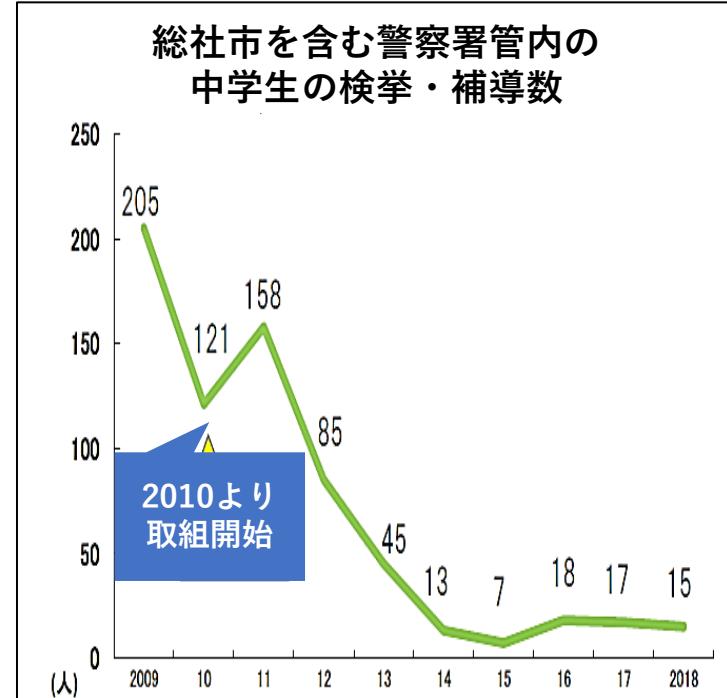
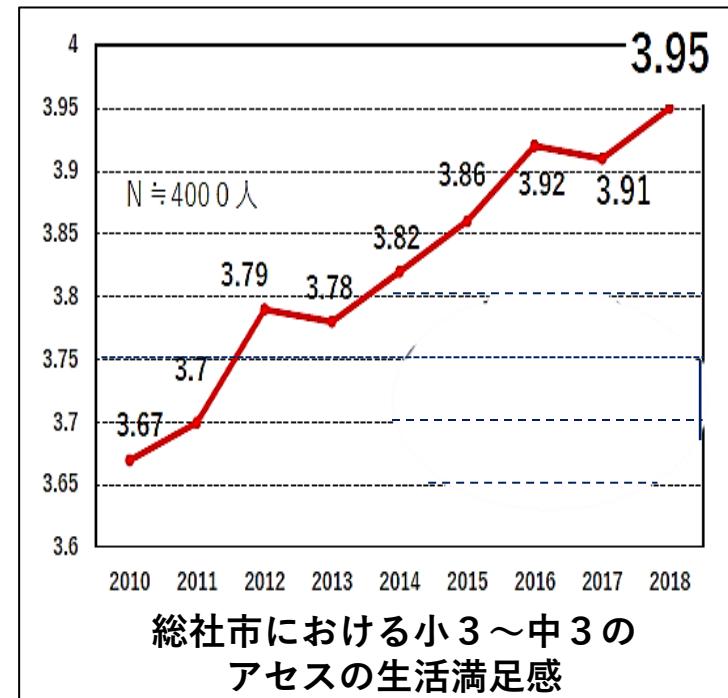
【成果①】

不登校児童生徒数が全国平均の
4分の1まで減少



【成果②】

生活満足感の上昇と
中学生の検挙・補導の減少



講師からの提供資料



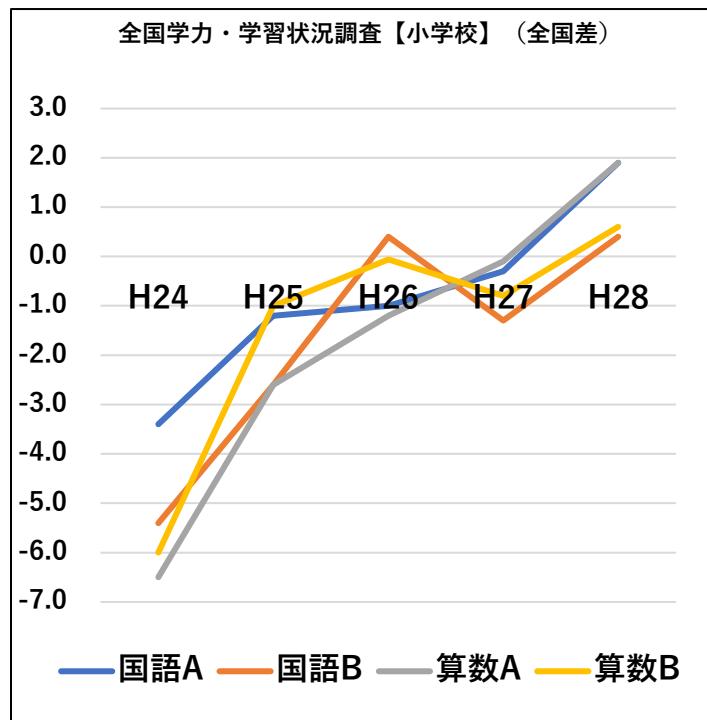
I. なぜ、ピア・サポートのなののか



岡山県 総社市における実績

【成果③】

複数の調査で、年々
学力が向上



岡山県総社市 学力向上「総社っ子輝きプラン」

【成果④】

岡山県で学力がトップクラス

岡山県学力・学習状況調査の結果【4/18 実施】
数値は平均正答率（%）

年齢	同率1位		同率6位		同率3位		同率3位	
	総社市	県	総社市	県	総社市	県	総社市	県
小学3年生	国語 79.0	77.1	国語 73.0	73.3	国語 71.6	69.8	国語 71.7	70.2
基礎	82.6	80.9	基礎	73.7	73.9	基礎	75.9	74.1
活用	64.3	62.3	活用	70.4	71.1	活用	56.7	57.8
小学4年生	算数 75.0	73.3	算数 67.9	67.4	算数 76.1	75.1	算数 61.1	59.3
基礎	80.3	78.5	基礎	70.7	69.8	基礎	62.6	61.1
活用	48.5	47.6	活用	56.7	57.8	活用	53.8	50.5
小学5年生	英語 75.8	74.4	英語 59.3	59.8	英語 77.6	76.1	英語 63.6	63.9
基礎	77.6	76.1	基礎	63.6	63.9	基礎	48.6	49.6
活用	67.8	66.7	活用	48.6	49.6	活用	52.2	49.5

市の平均正答率が県全体の数値を上回ったものを赤字で表しています。

岡山県総社市 広報H29年9月号

【成果⑤】

2018年西日本豪雨で1人の高校生がSNSでボランティアを呼びかけ1,000人以上が参加



岡山県総社市のツイッター



目次



1. なぜ、ピア・サポートなのか
2. 岩見沢型ピア・サポートとは
3. 現時点の成果



2. 岩見沢型ピア・サポートとは



岩見沢型ピア・サポート

子どもたちの対人関係や自己表現力など、社会で生きる力が子どもたちが極めて不足している現状を改善するため、相互に思いやり、支え合うためのスキルを習得する体験プログラム

ソーシャルスキルトレーニング

MLA（マルチレベルアプローチ＝包括的生徒指導）

- ①ピア・サポートプログラム…互いに支え合う活動等を通して、自己理解・他者理解・問題解決等のスキルを育成するプログラム
- ②SEL…自分や相手の感情を察知し、感情の言語化・想像力の育成等のスキルを育成するプログラム
- ③PBIS…望ましい行動を具体的に教えて、それができたら褒めるというポジティブなアプローチ
- ④協同学習…教科等の学習において、お互いが助け合う必要がある状況の中で、学習への理解を深める学習方法



2. 岩見沢型ピア・サポートとは



①ピア・サポートプログラム・互いに支え合う活動を通して、思いやりのある集団を醸成するプログラム

コミュニケーションスキルの育成

- ・互いに背中合わせに座らせる
- ・「相手にその図形を口頭で説明して、紙に書いてもらいます。ただし書く人は返事、質問、確認を一切しないで下さい。」
- ・互いに向かい合って座らせる
- ・「今度は、相手にその図形を口頭で説明して、紙に書いてもらいます。今度は返事、質問、確認、説明しながらのアドバイスはOKです。」
- ・振り返りを記入する

岩見沢市 ピア・サポート授業 基本カリキュラム

	アイスブレイク	トレーニング	領域
中 一 年	○×クイズ	エゴグラム	自己理解
	ブラインドウォーク	サポートって何だろう	他者理解
	イメージシンクロ	プラスのストローク	他者理解
	ジャンケン	大切なもののランキング	他者理解
	教室配置図	対話の位置関係	コミュニケーション訓練
	いろいろピンゴ	怒りの温度計	他者理解
中 二 年		一方通行	コミュニケーション訓練
	バースデーチェーン	砂漠の救助	他者理解
	牛馬ゲーム	ネットいじめ予防	コミュニケーション訓練
	イメージシンクロ2	温かい言葉かけ	コミュニケーション訓練
	ニ沢ゲーム	上手な断り方	コミュニケーション訓練
	サイン集め2	紙面相談	他者理解
中 三 年	ごちゃまぜピンゴ	エゴグラム	自己理解
	質問バトル	5W1H	コミュニケーション
	仲間さがし	リフレーミング	他者理解
	足し算トーク2	一方通行	他者理解
	牛馬ゲーム	問題を解決する5つのステップ	センター養成



2. 岩見沢型ピア・サポートとは



①ピア・サポートプログラム…互いに支え合う活動を通して、思いやりのある集団を醸成するプログラム

傾聴・受容・共感スキルの育成【テーマ 悲しかったこと】



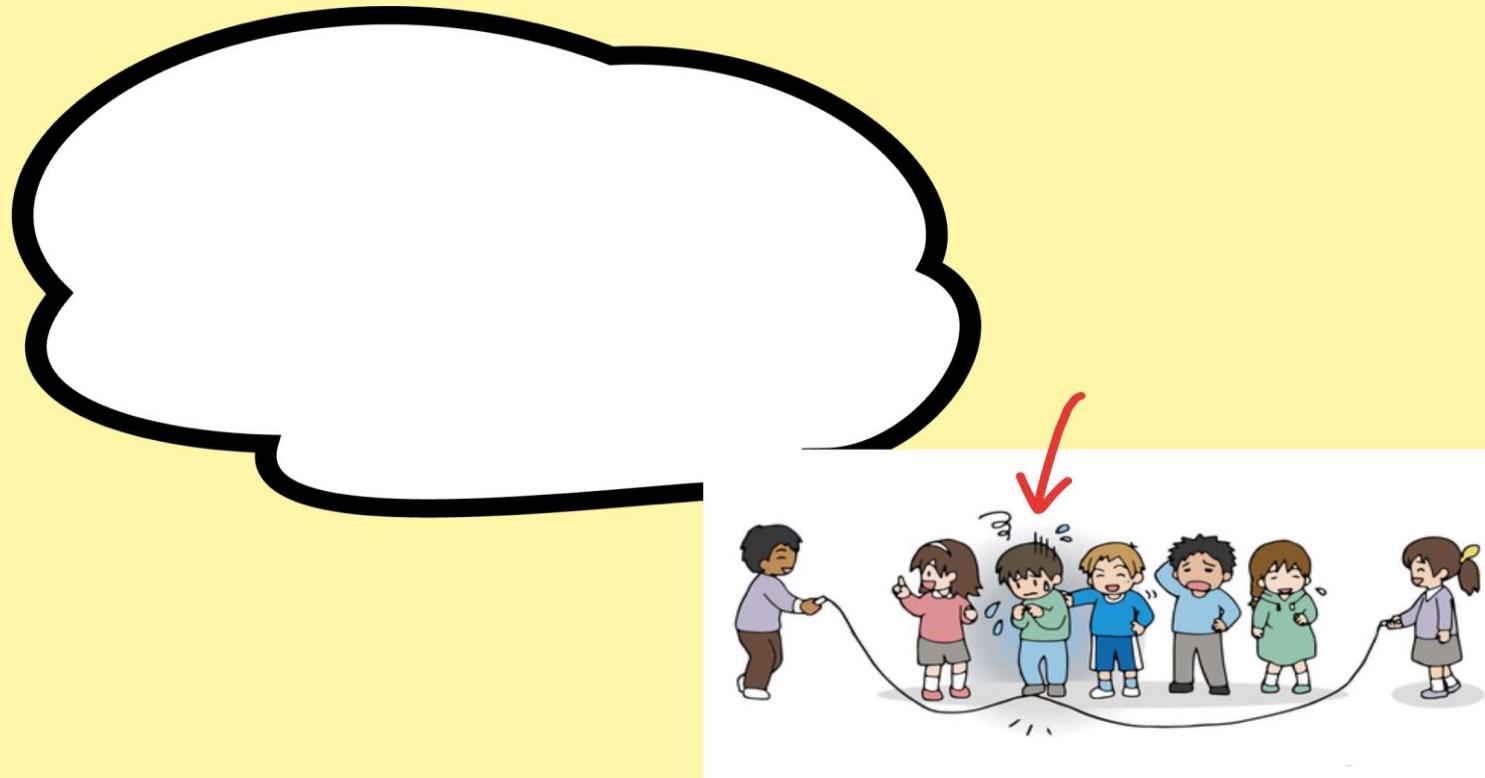


2. 岩見沢型ピア・サポートとは



②SEL……………相手の感情を察知し、自分自身でコントロールし、課題に対処・解決するスキルを育成するプログラム

この人の気持ちを考えてみよう！



①どんな気持ちだと思いますか？

②なぜそう思いましたか？

気持ちを知るヒント

- ・しぐさ
- ・顔の表情
- ・言葉の様子
- ・周りの状況（・過去の経験）
- ・相手の立場

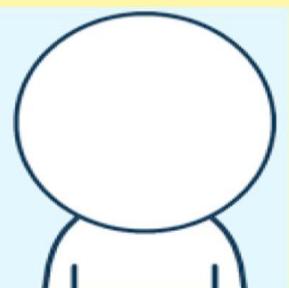
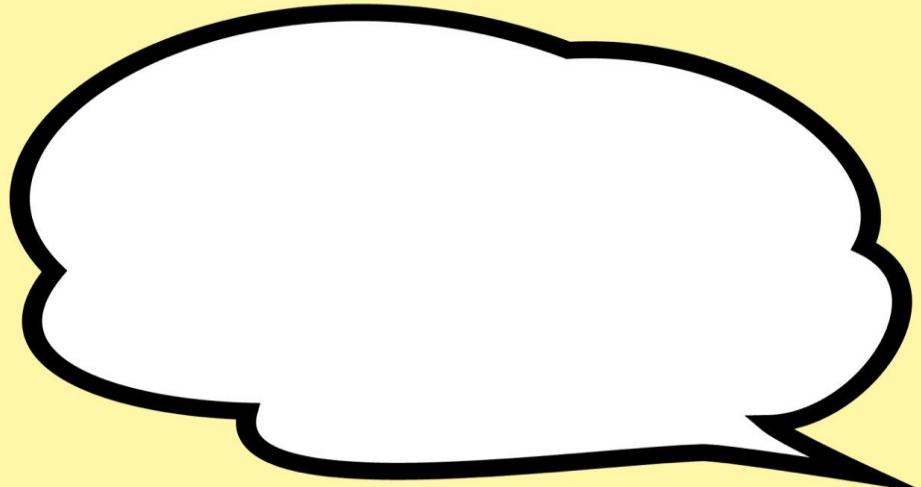


2. 岩見沢型ピア・サポートとは



②SEL……………相手の感情を察知し、自分自身でコントロールし、課題に対処・解決するスキルを育成するプログラム

だれにどんな言葉をかけたらいいかな？



①どんな気持ちだと思いますか？

②なぜそう思いましたか？

気持ちを知るヒント

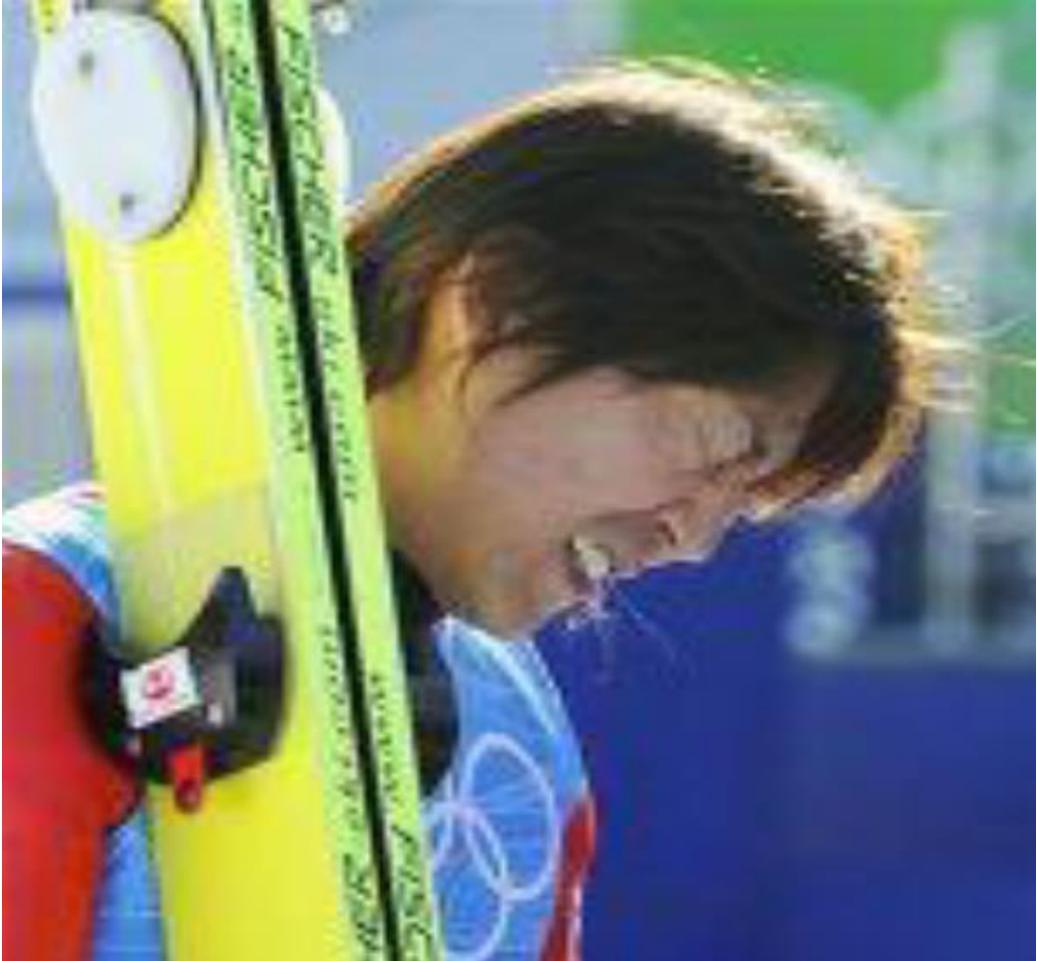
- ・しぐさ
- ・顔の表情
- ・言葉の様子
- ・周りの状況（・過去の経験）
- ・相手の立場



2. 岩見沢型ピア・サポートとは



②SEL……………相手の感情を察知し、自分自身でコントロールし、課題に対処・解決するスキルを育成するプログラム



①どんな気持ちだと思いますか？

②なぜそう思いましたか？

気持ちを知るヒント

- ・しぐさ
- ・顔の表情
- ・言葉の様子
- ・周りの状況
- （・過去の経験
- ・相手の立場）



2. 岩見沢型ピア・サポートとは



単発な指導で終わらない



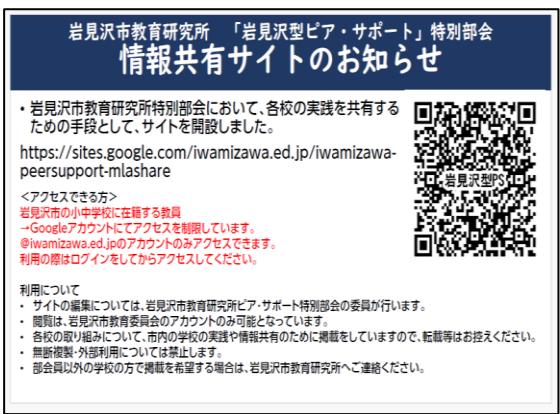
日常生活に反映



他校種間の情報共有



異学年の交流へ





目次



1. 研修講師の紹介及び実績
2. 岩見沢型ピア・サポートとは
3. 現時点の成果

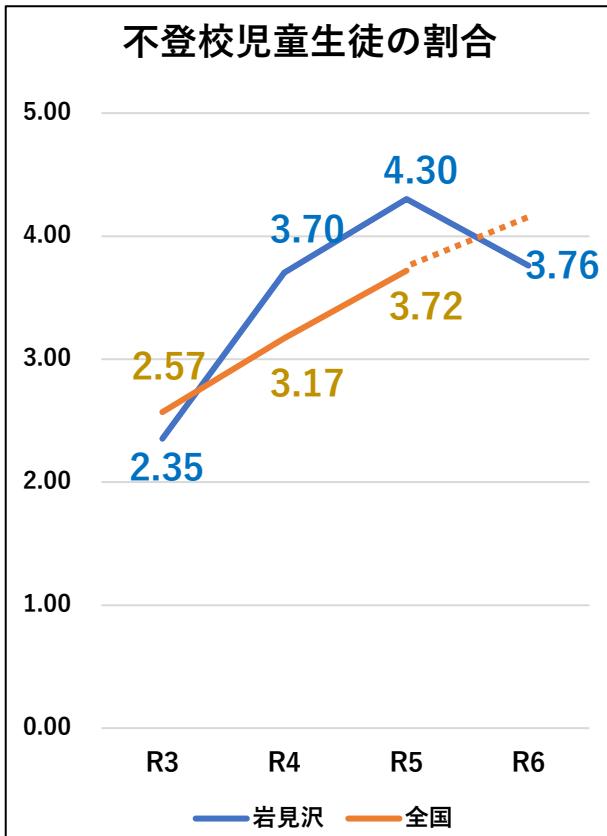


3. 現時点での成果

【成果①】

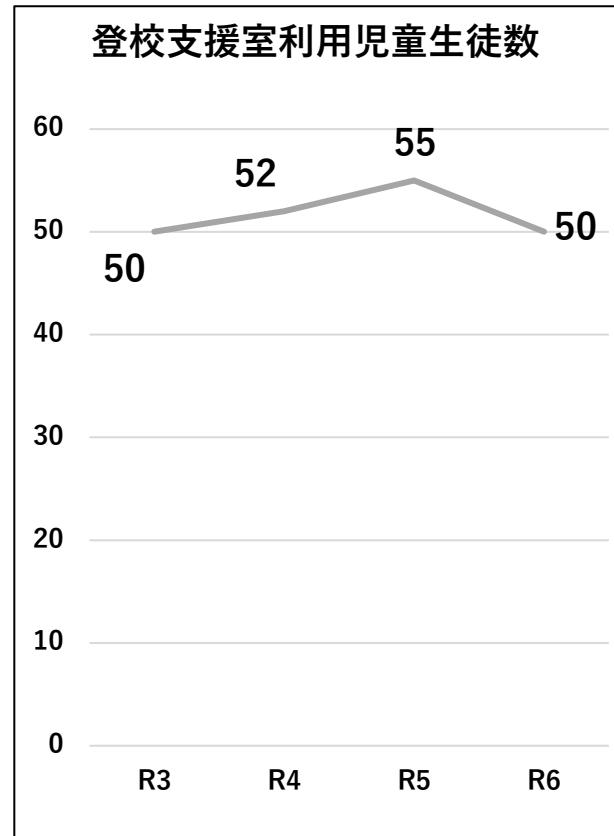
不登校児童生徒の割合が減少

不登校児童生徒の割合



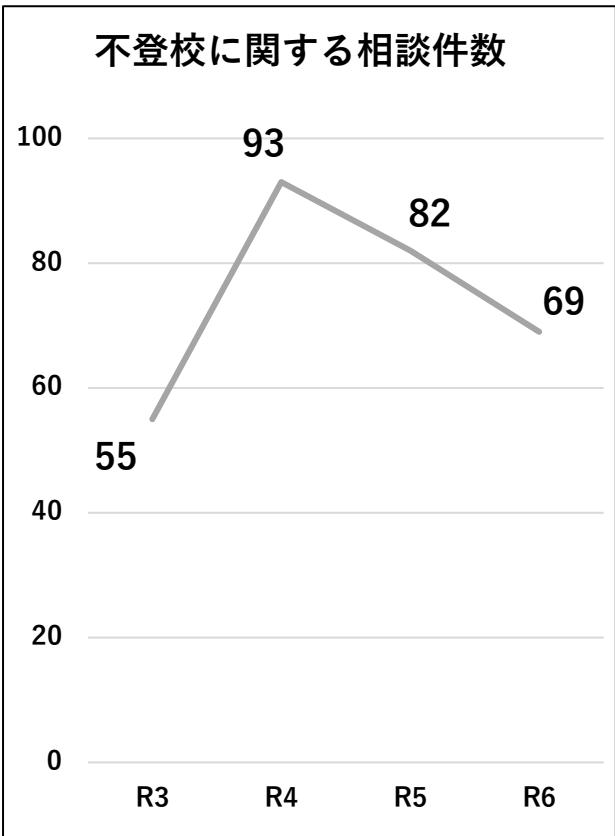
児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の
諸課題に関する調査（文科省）

登校支援室利用児童生徒数



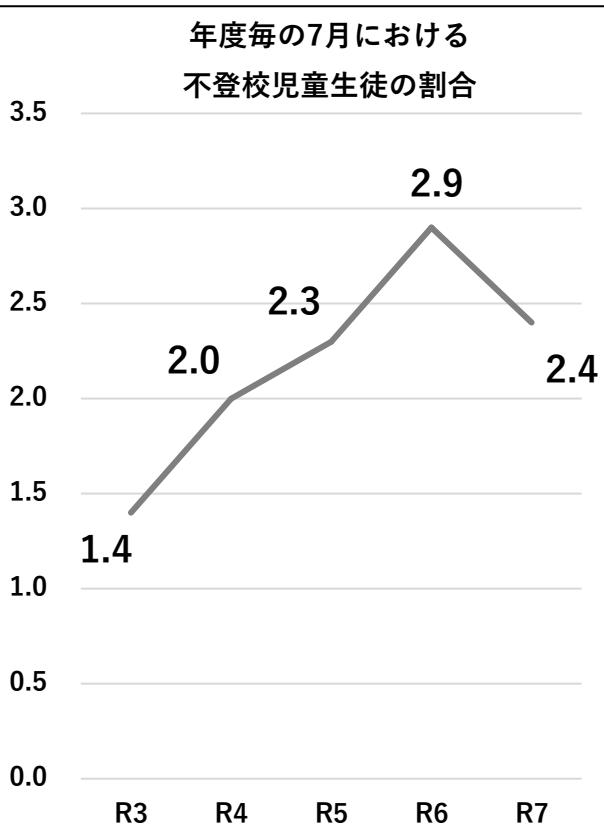
市教育支援センターにおける
登校支援室利用児童生徒数（市独自）

不登校に関する相談件数



市教育支援センターにおける
不登校に関する相談件数（市独自）

年度毎の7月における
不登校児童生徒の割合



指導室における
月別不登校児童生徒の割合（市独自）



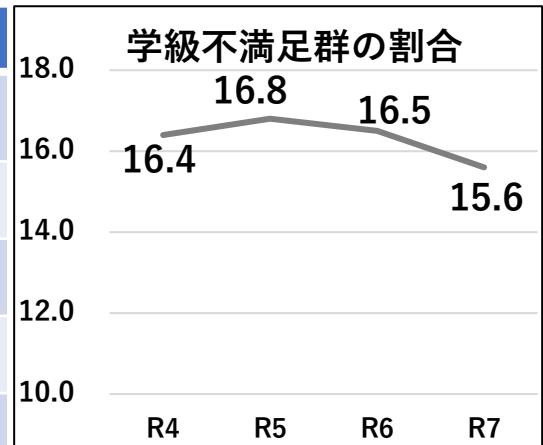
3. 現時点での成果



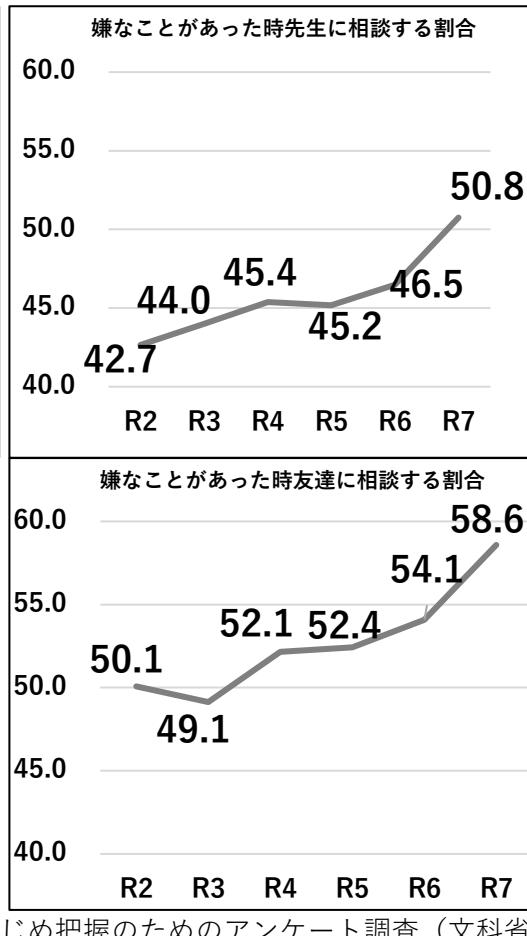
【成果②】

安全・安心な学校・学級風土の醸成

質問	小学校（全国差）	中学校（全国差）
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	61.7(+6.4)	52.0(+15.4)
いじめはどんな理由があっても許されないことだと思いますか	86.5(+5.1)	86.5(+9.4)
発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう工夫していますか	28.0(+1.2)	19.9(+1.0)
話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づきますか	42.5(+1.6)	38.9(+3.8)
先生は、分かるまで勉強を教えてくれますか	57.7(+10.0)	38.7(+4.9)
友達の考えを大切にして、互いに協力しながら課題解決に取り組んでいますか	55.2(+5.3)	54.6(+8.8)
学校生活をよりよくするために、互いの意見の良さを生かしていますか	41.7(+5.2)	42.1(+9.5)
先生は、あなたの良いところや前よりもできるようになったことを伝えていますか	38.7(+10.6)	35.1(+10.2)
道徳では、考えを深めたり、話し合ったりする活動に取り組んでいますか	55.0(+7.7)	65.7(+17.0)
先生は、あなたの学習がどうしたらうまくできるようになるか教えていますか	42.7(+12.9)	33.0(+8.1)



Hyper-QUにおける
学級不満足群の割合（市独自）



令和7年度 全国学力・学習状況調査における児童生徒質問調査（文科省）

いじめ把握のためのアンケート調査（文科省）



3. 現時点での成果



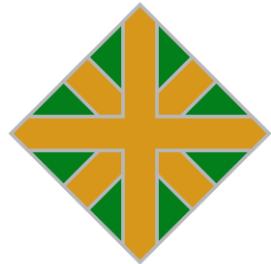
【成果③】

全国学力・学習状況調査における教科調査において学力の向上

小学校	R7（昨年度との比較）
国語	94.3 (−1.7P)
算数	94.8 (+3.3P)

中学校	R7（昨年度との比較）
国語	101.3 (+4.9P)
数学	99.4 (+2.3P)

全国学力・学習状況調査における教科調査（文科省）



~未来へのトビラを拓く教育のまち 岩見沢~



子どもが煌めく学校教育の推進

総合教育会議

ご清聴・ご体験 ありがとうございました



期日：令和7年10月27日(月)

岩見沢市教育大綱の見直しについて

【令和7年度 第2回 総合教育会議 資料】

令和7年10月27日

企画財政部 企画室

岩見沢市教育大綱について

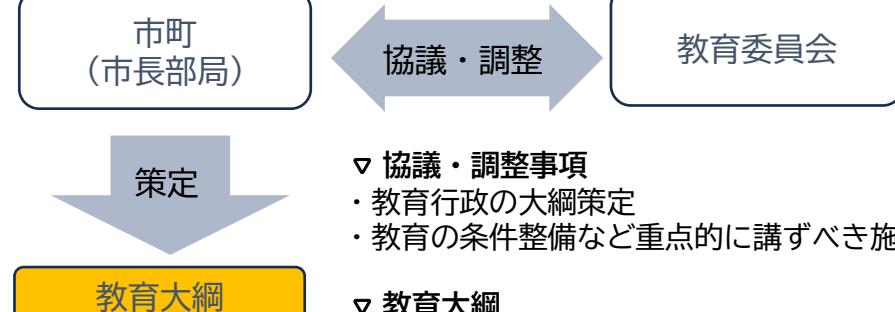
1. これまでの策定経過

■平成27年4月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、
地方公共団体の長に**大綱の策定を義務付け**
→ 第1期教育大綱（H27～H29）を策定し、法施行後の**H27.12月から実施。**

■第6期総合計画の策定時期に合わせ、**第1期で定めた理念や重点項目を基礎としながら、取組みの一部を変更**を行う
→ 第2期教育大綱（現行）を**H30.4月から実施**

総合教育会議と教育大綱の位置づけ

首長と教育委員会による、教育政策の方向性の共有



▽ 協議・調整事項

- ・教育行政の大綱策定
- ・教育の条件整備など重点的に講ずべき施策など

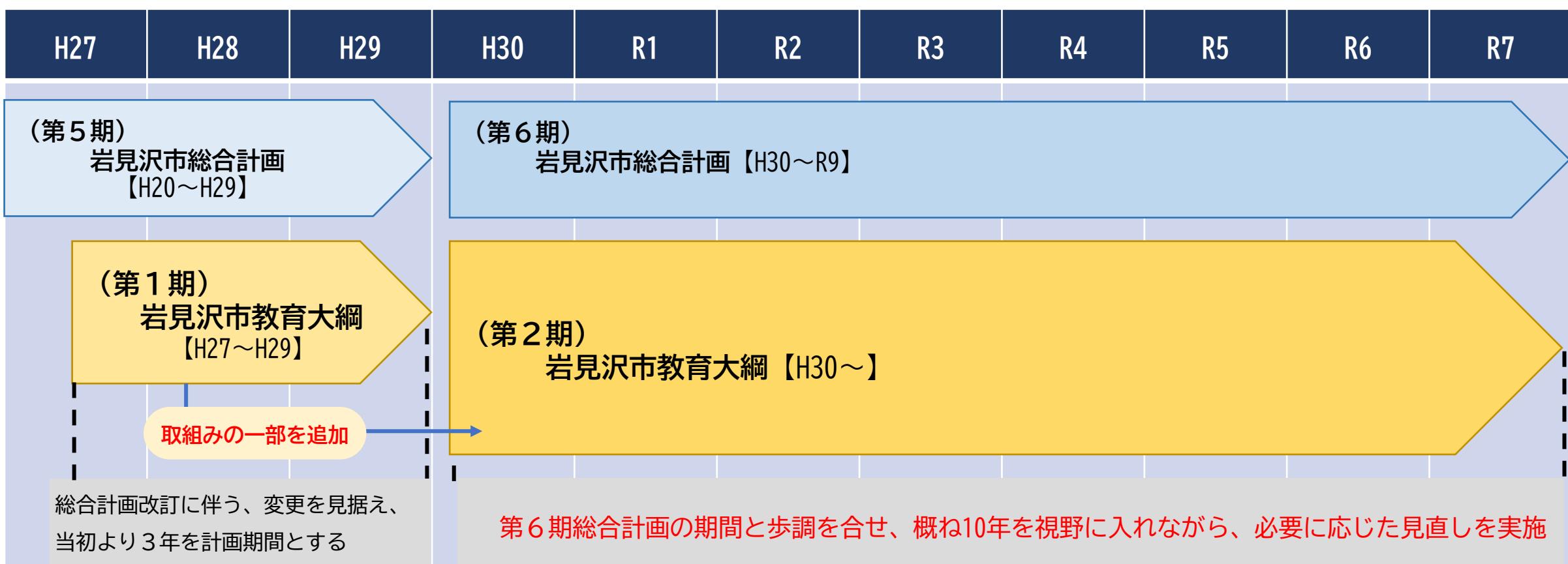
▽ 教育大綱

教育の目標や施策の根本的な方針、考え方を示すもの

【教育大綱を策定する法的根拠】

●地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第1条の3 地方公共団体の長は、教育基本法第十七条第一項に規定する基本的な方針を参照し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下単に「大綱」という。）を定めるものとする。
2 地方公共団体の長は、大綱を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、次条第1項の総合教育会議において協議するものとする。



岩見沢市教育大綱について

2. 現大綱の体系

■現大綱は「岩見沢市教育推進計画」における重点項目のうち、7つの項目と関連施策で構成

■基本理念

教育は、未来を生きる人を育てることを通して、未来を創造する営みであり、人を幸せにするものです。一人ひとりの持っている可能性を広げ、伸ばし、より豊かな人生を過ごせるように導きます。教育によって次世代を担う人づくりがすすめられ、学びを通じて人がつながり、岩見沢のまちづくりがもっと魅力的になります。豊かな心や健やかな体を育む、教育、文化、芸術、スポーツのまちづくりに向けて温かく、心のこもった教育を推進します。

■重点項目

1 新しい時代に対応できる力の育成

- ①確かな学力を育成する教育の推進 ②高度なＩＣＴ社会を担う人材の育成 ③グローバル人材の育成 ④大学等との連携による教育活動の推進

2 豊かな人間性と健やかな身体を育成する教育の推進

- ①自尊感情、自己有用感の育成 ②礼節を重んじる教育の推進 ③体力向上のための運動の習慣化の推進 ④自らの判断で命を守ることができる力の育成

3 育ちと学びを支える教育環境の充実

- ①学校・家庭・地域の連携②いじめの未然防止、早期発見、早期対応、早期解消③教育支援センターによる教育支援の充実
④家庭環境等の要因により学習に困難を有する子どもたちへの学習支援⑤奨学金制度の充実 ⑥特別支援教育・療育体制の充実 ⑦教職員の資質向上
⑧学校の適正配置安全・安心・快適な教育環境の確保

4 子ども・子育て支援の推進

- ①子ども・子育て支援の充実 ②子育て相談体制の充実 ③放課後児童クラブ等の充実 ④青少年健全育の充実

5 緑陵高等学校の教育の充実

- ①地域社会の発展に貢献できる教育活動と人材育成 ②活力と特色のある学校づくりの推進

6 学校給食の充実

- ①安全安心で子どもたちに喜ばれる学校給食の提供 ②食育の推進

7 社会教育の推進

- ①生涯学習の充実 ②芸術文化・スポーツ活動の推進 ③障がい者スポーツ・アートの普及・促進 ④歴史・文化財等の保存・活用と継承
⑤図書館運営の充実

3. 現大綱の特色

1 「教育は人づくり」の理念のもと、地域を担う人材の育成

教育によって未来を担う人づくりを進め、
岩見沢のまちづくりの推進につなげる

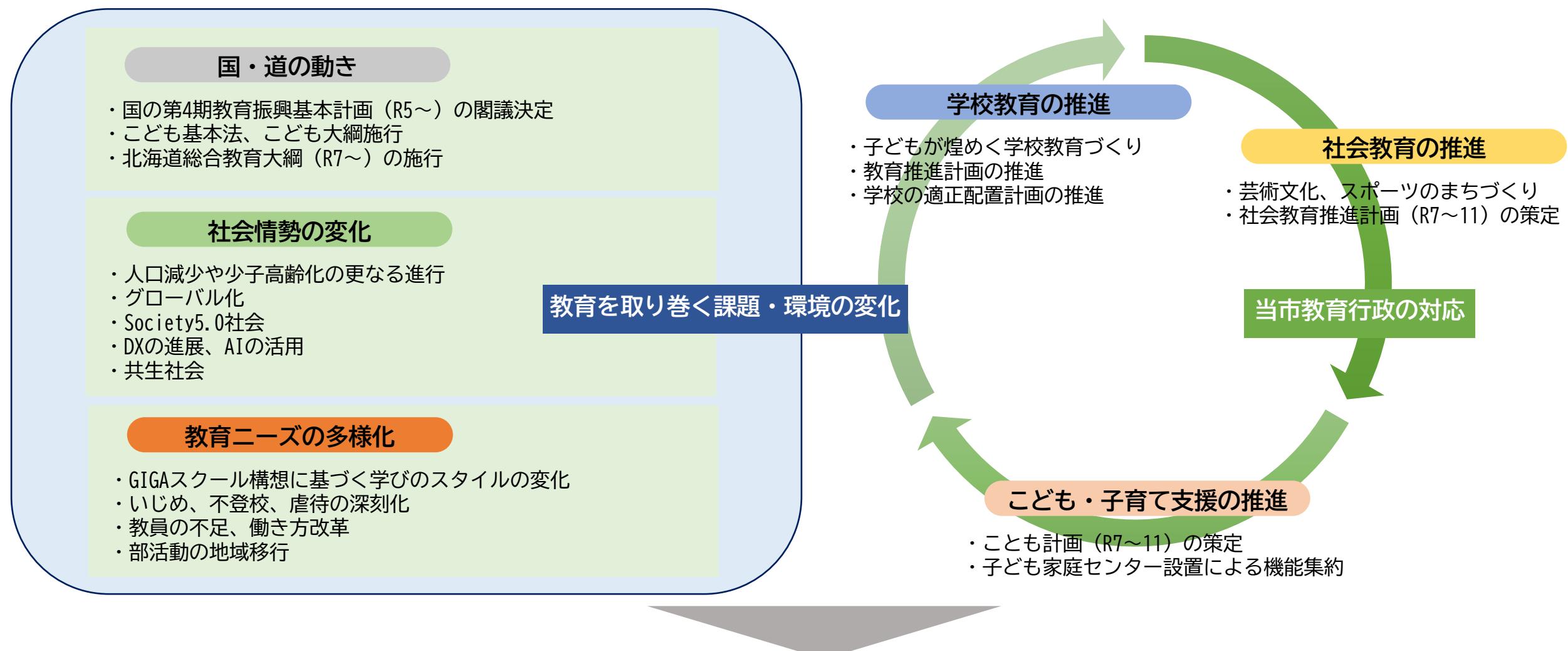
2 こどもの育成を社会全体でサポート

芸術文化・スポーツのまちづくりや、子育て支援環境など、
当市の強み・特性を活かした総合的な支援体制の構築

岩見沢市教育大綱について

4. 見直しの趣旨

■現大綱の策定以降、大きく変化する教育環境や多様化・高度化する課題に対し、当市教育行政において適切かつ柔軟に対応



現大綱における取組みの検証・評価を行い、現状に即した考え方・方向性に見直し、大綱に盛り込む必要

5. 今後のスケジュール（予定）

- 令和8年 総合教育会議を2回程度開催し、大綱の見直しについて協議
- 令和9年 4月 次期教育大綱 施行